

令和6年度千葉県計画の策定について

1 国への要望と内示の状況について（表1参照）

※端数計算の都合上、千円単位で計算した場合と総額などが一致しない場合があります。

○国へは、医療分49.2億円、介護分43.2億円の合計92.4億円を要望した。

○医療分の区分Ⅰ-①（地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業）区分Ⅰ-②（地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業）Ⅱ（居宅等における医療の提供に関する事業）Ⅳ（医療従事者の確保に関する事業）

Ⅵ（勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業）については、国からの内示が示されている。介護分については、区分Ⅲ（介護施設等の整備に関する事業）が内示され、区分Ⅴ（介護従事者の確保に関する事業）は内示が示されていない。

○内示が示された区分については、要望額と内示額に差額があった。

○千葉県計画の策定にあたっては、要望額と内示額に差額が生じた部分について、以下、対応方針に基づき、事業費を修正の上策定し、国へ計画の提出を行うことしたい。

2 要望額と内示額の差額への対応方針について（表2参照）

対応方針

（1）過年度基金残額を活用し、令和6年度基金事業を実施する。

（表2）方針①過年度基金活用 18.7億円（医療分） 24.4億円（介護分：区分Ⅲ）

（2）事業の執行額を精査し、事業費を減額する。

（表2）方針②事業見直し等 ▲2.1億円

（表1）基金の要望と内示

（単位：億円）

国の事業 区分	国への 要望額 (A)	内示 状況 (B)		差額 (B-A)
		R6	後年度分	
Ⅰ-① 医療施設	-	-	-	-
Ⅰ-② 病床再編	1.0	1.0	-	▲0.1
Ⅱ 在宅医療	3.1	3.1	-	▲0.7
Ⅳ 医療人材	28.1	28.1	-	▲6.8
Ⅵ 労働環境	17.0	17.0	-	▲0.2
医療計	49.2	49.2	-	▲7.8
Ⅲ 介護施設	38.7	38.7	-	▲6.1
Ⅴ 介護人材	4.5	4.5	-	未内示
介護計	43.2	43.2	-	未内示
合計	92.4	92.4	-	

（表2）令和6年度計画の内示対応

（単位：億円）

国の事業 区分	国への 要望額 (A)	内示 状況 (B)	差額 (B-A)	対応策		R6年度計画の 執行予定額
				方針① 過年度 基金活用	方針② 事業 見直し等	
Ⅰ-① 医療施設	-	-	-	12.7	-	12.7
Ⅰ-② 病床再編	1.0	0.9	▲0.1	0.1	-	1.0
Ⅱ 在宅医療	3.1	2.4	▲0.7	-	▲1.0	2.1
Ⅳ 医療人材	28.1	21.3	▲6.8	5.7	▲1.1	27.0
Ⅵ 労働環境	17.0	16.8	▲0.2	0.2	-	17.0
医療計	49.2	41.4	▲7.8	18.7	▲2.1	59.8
Ⅲ 介護施設	38.7	32.6	▲6.1	24.4	-	56.8
Ⅴ 介護人材	4.5	未内示				
介護計	43.2	未内示				
合計	92.4					